

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	現代の国語	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『新編現代の国語』 (東京書籍) 学習書：『新編現代の国語』 (NHK出版)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>評論や随筆等の現代文を学習し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、テスト資格を得たか。また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、その成果として、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	言語文化	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『新編言語文化』 (東京書籍) 学習書：『新編言語文化』 (NHK出版)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>近代以降の小説や詩歌などの現代文と、基礎を踏まえた取り組みやすい古文や漢文を学習し、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、テスト資格を得たか。また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、その成果として、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	文学国語 a	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『高等学校 標準文学国語』 (第一学習社) 学習書：『高等学校 標準文学国語』 (NHK出版)	選択 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「文学国語 b」と同じ教科書・学習書を使用する。詩や小説などの文学的文章を通し、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を養い、書いたり読んだりする資質・能力を身に付ける。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。 また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	文学国語 b	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『高等学校 標準文学国語』 (第一学習社) 学習書：『高等学校 標準文学国語』 (NHK出版)	選択 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「文学国語 a」と同じ教科書・学習書を使用する。詩や小説などの文学的文章を通し、深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を養い、書いたり読んだりする資質・能力を身に付ける。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。 また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	論理国語 a	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『新編論理国語』 (東京書籍) 学習書：『新編論理国語』 (NHK出版)	選択 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「論理国語 b」と同じ教科書・学習書を使用する。実社会や学術的な学習の基礎に必要とされる論理的な文章や実用的な文章を学習する。人間、社会、自然などに広く目を向け、考えを深める。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。 また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	論理国語 b	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『新編論理国語』 (東京書籍) 学習書：『新編論理国語』 (NHK出版)	選択 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「論理国語 a」と同じ教科書・学習書を使用する。実社会や学術的な学習の基礎に必要とされる論理的な文章や実用的な文章を学習する。人間、社会、自然などに広く目を向け、考えを深める。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。 また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	古典探究 a	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『高等学校 標準古典探究』 (第一学習社) 学習書：『高等学校 標準古典探究』 (NHK出版)	選択（協力校では開講しない） 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>「古典探究 b」と同じ教科書・学習書を使用する。『伊勢物語』『更級日記』『徒然草』など代表的な作品や漢文の故事・寓話を読む。</p> <p>基礎事項の復習もしながら、内容を深く読み取り、古典の世界を味わう。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席すること。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。</p> <p>また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	古典探究 b	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『高等学校 標準古典探究』 (第一学習社) 学習書：『高等学校 標準古典探究』 (NHK出版)	選択（協力校では開講しない） 国語の必修を修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>「古典探究 a」と同じ教科書・学習書を使用する。</p> <p>『平家物語』『枕草子』『方丈記』など代表的な作品、思想家の文章や漢詩などの漢文を読む。</p> <p>基礎事項の復習もしながら、内容をより深く読み取り、古典の世界を味わう。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席すること。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。</p> <p>また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
国語	実用国語	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	独自教材使用。問題集等も購入し、使用する(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のみ開講(協力校生の本校での受講可) ・国語の必修を修得済みのこと ・文学国語・論理国語・現代文Bのいずれかを科目修得(4単位以上の修得)していること。 ・卒業予定であること。 		
科目の目標・ねらい		学習方法		
高校卒業後、社会で必要とされる国語常識について学習する。		独自教材と問題集を活用して学習する。スクーリングでは応用的な練習教材なども使用するので、できるだけスクーリングに出席すること。		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題(レポート)に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・国語に必要な基礎知識を習得し、その成果として、テスト資格を得たか。</p> <p>また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
地理歴史	歴史総合	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書『新選歴史総合』 (東京書籍) 学習書『新選歴史総合』 (NHK出版)	必修 世界史Aを修得済みは受講不可。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を修得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察・構想する。		教科書を中心に学習すること。面接指導(スクーリング)では、報告課題(レポート)作成のヒントになる内容を行うので、できるだけスクーリングには出席すること。		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・1～5回の面接指導(スクーリング・放送視聴)に出席しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題(レポート)に取り組んでいるか。</p> <p>知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
地理歴史	地理総合	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書「地理総合」 (東京書籍)	現1・2年次生は必修 現3・4年次生は日本史探究との選択必修。 地理A修得済みは受講不可		
科目の目標・ねらい		学習方法		
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		教科書を中心に学習すること。面接指導(スクーリング)では、報告課題(レポート)作成のヒントになる内容を行うので、できるだけスクーリングには出席すること		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・1～5回の面接指導(スクーリング・放送視聴)に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題(レポート)に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
地理歴史	日本史探究 a	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書『日本史探究』 (東京書籍)	日本史探究 ab 同時受講すること 現1・2年次生は選択。歴史総合を修得済みのこと 現3・4年次生は地理総合との選択必修。日本史B修得済みは受講不可		
科目の目標・ねらい		学習方法		
日本の歴史を前期(古代～近世)と後期(近代・現代)に分けて学習する。国内の政治の動きや時代の流れを中心にすえ、国際関係も取り上げていく。広い範囲の内容を精選して学習していく。		教科書を中心に学習を進め、レポートの進め方や問題の考え方に留意しながら、歴史の大きな流れを大観する。また、「なぜ、その出来事が起こったのか?」という点をふまえ、理解のしやすさを大切にして授業を進める。		
評価方法・観点				
主体的に学習する態度・・・1～5回の面接指導(スクーリング・放送視聴)に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題(レポート)に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
地理歴史	日本史探究 b	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書『日本史探究』 (東京書籍)	日本史探究 ab 同時受講すること 現1・2年次生は選択。歴史総合を修得済みのこと 現3・4年次生は地理総合との選択必修。日本史 B 修得済みは受講不可		
科目の目標・ねらい		学習方法		
日本の歴史を前期(古代～近世)と後期(近代・現代)に分けて学習する。国内の政治の動きや時代の流れを中心にすえ、国際関係も取り上げていく。広い範囲の内容を精選して学習していく。		教科書を中心に学習を進め、レポートの進め方や問題の考え方に留意しながら、歴史の大きな流れを大観する。また、「なぜ、その出来事が起こったのか?」という点をふまえ、理解のしやすさを大切にして授業を進める。		
評価方法・観点				
主体的に学習する態度・・・1～5回の面接指導(スクーリング・放送視聴)に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題(レポート)に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
公民	公共	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書:『新版 公共 PUBLIC』(数研出版)	必修 現代社会修得済みは受講不可。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「公共的な空間をつくる私たち」や「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」に取り組むとともに、「公共的な空間における基本原理」、「現代の民主政治と政治参加の意義」、「現代の経済社会と経済活動のあり方」、「国際社会の動向と日本の役割」について考察し、持続可能な社会づくりの主体となる課題探求の力を養う。		教科書を中心に学習すること。面接指導(スクーリング)では、報告課題(レポート)作成のヒントになる補助プリントも配布しているので、できるだけスクーリングには出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・1～5回の面接指導(スクーリング・放送視聴)に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題(レポート)に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
公民	政治・経済	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書： 『現代政治・経済』（東京書籍）	選択（協力校では開講しない） 現1・2年次生は、公共を修得していること 現3・4年次生は、政治経済と倫理で必修とすることもできる。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「公共」で身につけた「視点や方法」を活かしつつ、政治・経済に対するより深い理解の下、よりよい社会を形成するために自分にできることを構想し、より実践的な解決策を探究していく。		教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングでは、より深い内容理解を目指す。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・1～5回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
公民	倫理	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『倫理』（東京書籍） 学習書：『倫理』（NHK 出版）	選択（協力校では開講しない） 現1・2年次生は、公共を修得していること 現3・4年次生は、政治経済と倫理で必修とすることもできる。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
人間とは何か。この究極の問いの答えを、人間は考えて続けてきた。その思想をたどりながら、21世紀に生きる私たちのあり方を考察していく。		教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングでは、より深い内容理解を目指す。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・1～5回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。 思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組んでいるか。 知識・技能・・・学習した内容を正しく理解し、基本的な技能を身につけてテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
数学	数学 I - 1	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『新数学 I』（東京書籍） 学習書：『新数学 I』（NHK 出版）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>「数と式」「方程式と不等式」について学習する。 「数と式」では公式を使って展開と因数分解ができるようにし、根号を含む計算に慣れるようにする。「方程式と不等式」では大小関係を表す不等号を用いて式を満たす数の範囲を考えたり、実数の範囲で 2 次方程式が解けるようにする。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。 スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</p>		
評価方法・観点				
<p>知識・技能……………テストの中で数学的用語・公式の意味を理解し、計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。 思考・判断・表現……………教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
数学	数学 I - 2	4	1 2	1 0
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『新数学 I』（東京書籍） 学習書：『新数学 I』（NHK 出版）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>「2 次関数」「三角比」「集合と論証」「データの分析」について学習する。「2 次関数」では 2 次関数のグラフの性質と 2 次不等式を、「三角比」では三角形の辺と角の関係を、「集合と論証」ではものの集まり、「データの分析」ではデータの整理方法やその活用をそれぞれ学ぶ。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。 スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</p>		
評価方法・観点				
<p>知識・技能……………テストの中で数学的用語・公式の意味を理解し、計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。 思考・判断・表現……………教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
数学	数学Ⅱ－1	3	9	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『新数学Ⅱ』 (東京書籍) 学習書：『新数学Ⅱ』 (NHK 出版)	選択 数学Ⅰを修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「図形と方程式」「方程式・式と証明」「指数関数と対数関数」について学習する。「図形と方程式」では直線や円の性質について座標を使って調べる。「方程式・式と証明」では3次以上の方程式を解く。「指数関数と対数関数」では指数・対数関数の性質を調べる。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。 スクーリングでは補助プリントを配布することもある。		
評価方法・観点				
知識・技能……………テストの中で数学的用語・公式の意味を理解し、計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。 思考・判断・表現……………教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
数学	数学Ⅱ－2	3	9	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『新数学Ⅱ』 (東京書籍) 学習書：『新数学Ⅱ』 (NHK 出版)	選択 数学Ⅰを修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「微分と積分」と「三角関数」について学習する。微分では変化するもの（たとえば速さ）の変化のようすを調べる。積分では今まで求めるのが難しかった、曲線で囲まれた図形の面積を求める。三角関数は「数学Ⅰ」で学んだ三角比の発展である。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。 スクーリングでは補助プリントを配布することもある。		
評価方法・観点				
知識・技能……………テストの中で数学的用語・公式の意味を理解し、計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。 思考・判断・表現……………教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
数学	数学入門	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	学習書：『数学 I 入門』 (NHK 出版)	選択 ただし、新入生は全員受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
高等学校での数学の学習を円滑にすすめ、数学 I - 1 へつながるように中学校の数学の内容を復習する。整数・分数・正の数と負の数、式の計算方法、方程式などについて図を多用して理解できるようにする。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。 スクーリングでは補助プリントを配布することもある。		
評価方法・観点				
知識・技能……………テストの中で数学的用語・公式の意味を理解し、計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。 思考・判断・表現……………教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
理科	科学と人間生活	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『科学と人間生活』 (東京書籍) 学習書『科学と人間生活』 (NHK 出版)	選択必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
身近な自然の事物・現象や、日常生活や社会の中で利用されている科学技術のうち、次の4点を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて学ぶ。 (1)ヒトの生命現象 (2)材料とその再利用 (3)光の性質とその利用(4)自然景観と自然災害		教科書や学習書を中心に勉強する。 スクーリングは、レポートに沿った内容を、補助プリントや補助教材を使いながら実施する。		
評価方法・観点				
知識・技能……………学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題（T）を解答できたか。 思考・判断・表現……………教科書の内容を理解し、レポート（R）に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
理科	物理基礎	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新編物理基礎』 (東京書籍) 学習書『新編物理基礎』 (NHK 出版)	選択必修 (協力校ではSを実施していません)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
運動、熱、波、電気、エネルギーなどの物理現象から、その法則性を見出し、計算によって実証する。 F = m a のような文字を使った数式(文字式)を使うので、不安がある人は担当者に相談する。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。 スクーリングでは補助プリントを配布することもあるので、できるだけスクーリングにも出席する。		
評価方法・観点				
知識・技能……………学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題(T)を解答できたか。 思考・判断・表現……………教科書の内容を理解し、レポート(R)に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
理科	化学基礎	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新編化学基礎』 (東京書籍) 学習書『新編化学基礎』 (NHK 出版)	選択必修 (協力校では隔年で実施)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
人間生活とのかかわりの中の化学として、物質の構成や物質の変化、原子の結合について学ぶ。また、指数(10 ²³ など)や比例の考え方をを用いて、量的な関係を取り扱う。		教科書を中心に、学習書を補助教材として学習を進める。 スクーリングは、レポートに沿った内容を中心に、補助プリントを使いながら実施する。 演習実験で、変化などを自分の目で確認する。		
評価方法・観点				
知識・技能……………学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題(T)を解答できたか。 思考・判断・表現……………教科書の内容を理解し、レポート(R)に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
理科	生物基礎	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新編生物基礎』 (東京書籍) 学習書『新編生物基礎』 (NHK出版)	選択必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
生物や生物現象について、「共通性と多様性」の概念を基礎として、生物学的に探求する能力を身につけることを目標とする。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席する。		
評価方法・観点				
知識・技能……………学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題(T)を解答できたか。 思考・判断・表現……………教科書の内容を理解し、レポート(R)に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
理科	地学基礎	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『地学基礎』 (東京書籍) 学習書『地学基礎』 (NHK出版)	選択必修 (協力校では隔年で実施)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
例えば、何気なく転がっている石、毎日吸っている空気、踏みしめている大地などには地球や宇宙の情報がたくさんつまっている。地学基礎ではこれらの情報を用いて、地球や宇宙の現在、過去、未来を勉強する。		教科書や学習書を中心に勉強する。スクーリングは、レポートに沿った内容の話を、補助プリントや実験道具などを使いながら実施する。		
評価方法・観点				
知識・技能……………学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題(T)を解答できたか。 思考・判断・表現……………教科書の内容を理解し、レポート(R)に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……………学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	体育1	2	4	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新高等保健体育』保体702 (大修館) イラストでみる最新スポーツルール (大修館)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。 		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート学習(バレーボール、バスケットボールの歴史やルール、体育理論) ・スクーリング(各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論) 		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題(レポート)に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	体育2	2	4	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新高等保健体育』保体702 (大修館) イラストでみる最新スポーツルール (大修館)	必修 体育1を修得しているか同時受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。 		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート学習(ソフトボール、卓球の歴史やルール、体育理論) ・スクーリング(各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論) 		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題(レポート)に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	体育3	2	4	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新高等保健体育』保体702 (大修館) イラストでみる最新スポーツルール (大修館)	必修 体育2を修得しているか同時受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。 		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート学習 (テニス、サッカーの歴史やルール、体育理論) ・スクーリング (各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論) 		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業 (スクーリング) に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題 (レポート) に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	体育4	1	2	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書『新高等保健体育』保体702 (大修館) イラストでみる最新スポーツルール (大修館)	必修 体育3を修得しているか同時受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。 		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート学習 (バドミントンの歴史やルール、体育理論) ・スクーリング (各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論) 		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業 (スクーリング) に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題 (レポート) に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	スポーツA	1	2	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	補助プリント	選択科目 体育7単位を修得しているか、卒業時同時受講。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> 健康のために、スポーツを生活の一部として位置づけできるような能力や態度を養い、そのために必要な知識を修得する。 体力の保持増進。 		<ul style="list-style-type: none"> レポート学習（ニュースポーツや、レクリエーションスポーツの歴史や意義、実践方法について） スクーリング（各種ニュースポーツの基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展） 実技重視（理論は行わない） 		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	保健1	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書『新高等保健体育』 保体702 （大修館）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に関する知識を身につけ、健康で安全な生活を営む態度を養う。 		レポート学習（現代社会と健康） スクーリング（現代社会と健康）		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。</p> <p>知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
保健体育	保健 2	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書『新高等保健体育』 保 体 702 (大修館)	必修 保健 1 を修得しているか、卒業時同時受講。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
健康や安全に関する知識を身につけ、健康で安全な生活を営む態度を養う。		レポート学習 (生涯を通じる健康、社会生活と健康) スクーリング (生涯を通じる健康、社会生活と健康)		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業 (スクーリング) に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題 (レポート) に取り組んだか。 知識・技能・・・必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
芸術	音楽 I	2	6	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『音楽 I Tutti+』 (教育出版) 学習書『音楽 I Tutti+』 (NHK出版)	選択必修 (本校のみ開講)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
音楽を楽しむことをモットーにして、楽譜の読み方や音楽史を中心に学習する。スクーリングでの音楽鑑賞も重要です。		スクーリングを中心に学習を進める。 教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。 分からぬ点はすぐ質問に来ること。早めに来るほどレポートがやりやすくなる。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング (S) に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート (R) が合格しているか。 知識・技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
芸術	書道Ⅰ	2	6	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『書道Ⅰ』 (教育出版)	選択必修(ただし協力校は必修)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
筆の持ち方や、楷書・行書の書き方など、書道の基本を学ぶ。「仮名の書」を書く。 詩歌など「漢字仮名交じりの書」を工夫して書く。		スクーリングでは、毎回実技をする。 教科書をもとにして、レポートを完成させる。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート(R)が合格しているか。 知識・技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
芸術	書道Ⅱ	2	6	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『書道Ⅱ』 (東京書籍)	選択 書道Ⅰを修得済みのこと		
科目の目標・ねらい		学習方法		
書道Ⅰの学習を生かし、楷書・行書・草書・隸書・篆書について学ぶ。 「少字数の漢字」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」を工夫して書く。		スクーリングでは、毎回実技をする。 教科書をもとにして、レポートを完成させる。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート(R)が合格しているか。 知識・技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
芸術	硬筆	2	6	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	自主教材：『硬筆テキスト』	選択 本校2年次を対象に、日面と木面で開講する。 再受講は不可		
科目の目標・ねらい		学習方法		
筆順、へん・つくりなどの名称、漢字の結構法や明朝体と楷書の違いを学ぶ。 行書や仮名の書き方、横書きの書き方、はがき・封書の書き方など実用的な書式を学ぶ。		スクーリングでは、毎回実技をする。 硬筆テキストをもとにして、レポートを完成させる。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング(S)に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート(R)が合格しているか。 知識・技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
外国語	英語コミュニケーション I-1	1	3	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後 期	教科書：『All Aboard! English Communication I』（東京書籍） 学習書：『All Aboard! English Communication I』（NHK 出版）	必 修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。また、これらの知識を、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションの中で、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p>		<p>教科書と学習書を用いて、レポート（報告課題）に取り組み、提出期限を守る。 自学自習に慣れていない間は、毎回のスクーリング（面接指導）に出席することを勧める。レポートに準じて作成したスクーリングプリントを配布・解説するので、自分で復習しながらレポートを完成させることができる。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度…課題意識をもって、積極的にスクーリングに参加しているか。 思考・判断・表現……………自分の考えを深め、意欲的にレポート（報告課題）に取り組んでいるか。 知識・技能……………英語に必要な知識や技能を習得し、定期テストで成果を発揮できているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
外国語	英語コミュニケーション I-2	3	9	14
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『All Aboard! English Communication I』（東京書籍） 学習書：『All Aboard! English Communication I』（NHK 出版）	必 修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>外国語の学習を通して、文化なども理解しながら、言語やその運用の実践能力を身につける。</p>		<p>教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。</p>		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度…課題意識をもって、積極的にスクーリングに参加しているか。 思考・判断・表現……………自分の考えを深め、意欲的にレポート（報告課題）に取り組んでいるか。 知識・技能……………英語に必要な知識や技能を習得し、定期テストで成果を発揮できているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	9	14
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『All Aboard! English CommunicationⅡ』 (東京書籍) 学習書：『All Aboard! English CommunicationⅡ』 (NHK出版)	選択 英語コミュニケーションⅠ(3単位)を修得していること		
科目の目標・ねらい		学習方法		
英語コミュニケーションⅠの学習を基にして、やや複雑な英文を理解し、表現しうる能力を養う。文法に関しても、これまで学んできたことを基にして、やや複雑な分野も学ぶ。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度…課題意識をもって、積極的にスクーリングに参加しているか。 思考・判断・表現…自分の考えを深め、意欲的にレポート(報告課題)に取り組んでいるか。 知識・技能…英語に必要な知識や技能を習得し、定期テストで成果を発揮できているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
外国語	論理・表現Ⅰ	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『NEW FAVORITE』 English logic and ExpressionⅠ (東京書籍) 学習書『NEW FAVORITE』 English logic and ExpressionⅠ (NHK出版)	選択 英語コミュニケーションⅠ(3単位)を修得していること。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
今まで学んできた基本を踏まえて、日常生活の色々な場面で使われる表現を学ぶ。会話やEメール、スピーチ等の様々な表現方法を身につけることを目指す。		教科書・学習書を中心に、学習すること。スクーリングプリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度…課題意識をもって、積極的にスクーリングに参加しているか。 思考・判断・表現…自分の考えを深め、意欲的にレポート(報告課題)に取り組んでいるか。 知識・技能…英語に必要な知識や技能を習得し、簡単なプレゼンや自分の意見をしっかりと主張できるような自己表現力を定期テストで成果を発揮できているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
外国語	英語入門	2	6	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『英語入門』 (NHK 出版)	選択。ただし、新入生は全員受講。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
基本のアルファベットから始め、英語の基本を一通り学ぶ。		教科書を中心に学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んでいるか。 知識・技能・・・英語に必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。 また、自分の考えを適切に表現する技能を修得し、その成果として、テスト資格を得たか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
家庭	家庭総合 a	2	6	6
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『家庭総合』 (東京書籍) 学習書：『家庭総合』 (NHK 出版)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかわりと福祉、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・家庭や地域の生活を創造し、主体的に授業（スクーリング）に出席できているか。 思考・判断・表現・・・家族・家庭や地域社会の生活向上のための課題を設定し、その解決のために、報告課題（レポート）に取り組んでいるか。 知識・技能・・・自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けてテスト問題を解答できているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
家庭	家庭総合 b	2	6	6
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『家庭総合』 (東京書籍) 学習書：『家庭総合』 (NHK 出版)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
主体的に学習に取り組む態度・・・家庭や地域の生活を創造し、主体的に授業（スクーリング）に出席できているか。 思考・判断・表現・・・家族・家庭や地域社会の生活向上のための課題を設定し、その解決のために、報告課題（レポート）に取り組んでいるか。 知識・技能・・・自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けてテスト問題を解答できているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
情報	情報 I	2	6	6 (実習 1 回は希望者のみ)
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『新編 情報 I』 (東京書籍)	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
情報に関する科学的な見方、考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を身に付ける。		教科書を中心に学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布することがあるので、できるだけ出席すること。 また、実習を 1 回のみ実施するが、希望者のみ受講することができる。		
評価方法・観点				
知識・技能・・・・・・・・・・学習内容を理解し、知識を身につけてテスト問題（T）を解答できたか。 思考・判断・表現・・・・・・・・教科書の内容を理解し、レポート（R）に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度・・・学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
商業	ビジネス基礎	3	9	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『ビジネス基礎』 新訂版 (実教出版)	選択(前籍校等で2単位以上修得者は受講不可)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
生産、流通、金融や情報など、経済を支えるビジネスについて基礎的な知識や、日本の産業構造の変化について理解させる。		教科書を中心に学習すること。 スクーリングでは、補助プリントを毎回配布するので、できるだけ出席すること。また、新聞やテレビ・インターネットなどのメディアからの情報収集も心がけると、よりいっそう効果的な学習ができる。		
評価方法・観点				
<p>知識・理解・技能・・・ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付け、テスト問題を解答しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えて、レポート(課題報告書)に取り組んでいるか。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度・・・自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとして、自ら計画的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
商業	ビジネス法規	3	9	8
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『経済活動と法』 新訂版 (実教出版)	選択(前籍校等で2単位以上修得者は受講不可)		
科目の目標・ねらい		学習方法		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを旨とする。		教科書を中心に学習する。 レポートの難しいところや、大切なところをスクーリングで説明するので、できるだけ多くスクーリングに出席する。		
評価方法・観点				
<p>知識・理解・技能・・・ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するように努め、テスト問題を解答できるか。</p> <p>思考・判断・表現・・・法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養い、レポート(報告課題)に取り組んでいるか。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度・・・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、自ら計画的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p>				

教科名	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
心理学	自分さがしの心理学	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	心理学 (弘文堂)	選択 本校2年次生に限る。再受講は不可。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
一般教養としての心理学を学び、それを基にして「考える」体験へと導く入門書。		テキストを参照しながらレポートを作成し、スクーリングで理解を深める。		
評価方法・観点				
<p>主体的に学習に取り組む態度・・・自分で計画的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p> <p>思考・判断・表現・・・課題を客観的に判断し、レポート(報告課題)に取り組んでいるか。</p> <p>知識・技能・・・適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、レポートの最終締め切りまでにすべて出し終えたか。</p>				

	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
総合的な探究の時間	総合探究 1	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	レポート 補助プリント	必修 『総合的な探究（学習）の時間』の修得単位が0		
科目の目標・ねらい		学習方法		
本校の通信制課程のスクーリング、レポート、テストに向けてどのように計画して学習するか、その方法を学ぶ。		学習のしおり・年間学習計画書・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。		
評価方法・観点				
知識・技能……適切な情報の収集・活用能力を身につけ、学習した内容を正しく理解し、レポートを合格できたか。 思考・判断・表現……課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。				

	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
総合的な探究の時間	総合探究 2	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	レポート DVD（スクーリング時）	必修 『総合的な探究（学習）の時間』の修得単位が1 2年次以上		
科目の目標・ねらい		学習方法		
福祉：高齢者の健康や、ボランティア活動について学習し、今後の取り組みについて考える。 健康：喫煙が健康に及ぼす害について学習し、健康管理について考える。		DVD・本・雑誌・新聞・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。		
評価方法・観点				
知識・技能……適切な情報の収集・活用能力を身につけ、学習した内容を正しく理解し、レポートを合格できたか。 思考・判断・表現……課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組んでいるか。 主体的に学習に取り組む態度……自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。				

	科目名	単位数	R(レポート)回数	S(スクーリング)回数
総合的な探究の 時間	総合探究3	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	レポート DVD (スクーリング時)	必修 『総合的な探究(学習)の時間』の修得単位が 2 原則として3年次以上		
科目の目標・ねらい		学習方法		
<p>環境と防災について学習する。</p> <p>環境：人間生活によって発生する様々な環境問題の原因とそれを解決する方法を考える。</p> <p>防災：近年多発する自然災害から、自分や周りの人の命を守るにはどうすればよいのかを知る。</p>		DVD・本・雑誌・新聞・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。		
評価方法・観点				
<p>知識・技能……適切な情報の収集・活用能力を身につけ、学習した内容を正しく理解し、レポートを合格できたか。</p> <p>思考・判断・表現……課題を客観的に判断し、レポート(報告課題)に取り組んでいるか。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度……自分で計画的に、授業(スクーリング)に参加しているか。</p>				